

条文	旧	新
1.2.5	<p>オリンピック競技大会における階級は次の通りとする：</p> <p>男子</p> <p>(1) 61kg級 (2) 67kg級 (3) 73kg級 (4) 81kg級 (5) 96kg級 (6) 109kg級 (7) +109kg級</p> <p>女子</p> <p>(1) 49kg級 (2) 55kg級 (3) 59kg級 (4) 64kg級 (5) 76kg級 (6) 87kg級 (7) +87kg級</p>	<p>オリンピック競技大会における階級は次の通りとする：</p> <p>男子</p> <p>(1) 61kg級 (2) 73kg級 (3) 89kg級 (4) 102kg級 (5) +102kg級</p> <p>女子</p> <p>(1) 49kg級 (2) 59kg級 (3) 71kg級 (4) 81kg級 (5) +81kg級</p>
1.2.6	<p>ユースオリンピック競技大会における階級は</p> <p>ユース男子</p> <p>(1) 55kg級 (2) 61kg級 (3) 67kg級 (4) 73kg級 (5) 81kg級 (6) +81kg級</p> <p>ユース女子</p> <p>(1) 45kg級 (2) 49kg級 (3) 55kg級 (4) 59kg級 (5) 64kg級 (6) +64kg級</p>	<p>ユースオリンピック競技大会における階級は： 追ってIOCにより定められる。</p>
1.2.7	<p>競技会参加資格は、それぞれの競技会実施要項の定めによる。</p> <p>IWFイベントにおいて各MFは男子12名女子12名又は男女それぞれそのイベントで開催される階級数プラス2名のうち少ない方の人数をエントリーできるが、出場は最大で男子10名、女子10名又は男女それぞれそのイベントで開催される階級数のいずれか少ない方の人数に限る。1階級最大2名までの選手が出場できる。</p> <p>IWF世界選手権大会（シニア、ジュニア、ユース）においては男子20名女子20名をエントリーできるが、出場できるは最大で男子10名女子10名である。ただし各MFは実際に参加する競技者とチーム役員の数を実際の時点に申告しておく必要がある。</p> <p>例外：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック競技大会 ・ユースオリンピック競技大会 ・オリンピック競技大会以外の総合競技大会 	<p>競技会参加資格は、それぞれの競技会実施要項の定めによる。</p> <p>IWFイベントにおいて各MFは男子20名女子20名又は男女それぞれそのイベントで開催される階級数の2倍のどちらか少ない方の人数をエントリーできるが、出場は最大で男子10名、女子10名又は男女それぞれそのイベントで開催される階級数のいずれか少ない方の人数に限る。1階級最大2名までの選手が出場できる。</p> <p>各MFは実際に参加する競技者とチーム役員の数を実際の時点に申告しておく必要がある。</p> <p>例外：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック競技大会 ・ユースオリンピック競技大会 ・オリンピック競技大会以外の総合競技大会
2.5.1.2	両足底以外の体の部分がプラットフォームに触れること。	拳上中に、両足底以外の体の部分がプラットフォームに触れること。
2.5.1.11	シューズでバーベルに触れること。	シューズでバーベルを扱うこと。もし競技者が試技開始前にシューズでバーベルを扱った場合、レフリーは赤を押さなければならない。成功の試技の後にシューズでバーベルを扱った場合、レフリーの判定が覆ることはない。しかしながらジュリーが競技者に警告を与える場合がある。もし競技者が成功の試技後にシューズでバーベルを扱う行為を繰り返す場合は、判定は失敗とする。（訳注：原文では前回同様"touch"が用いられているが日本の道徳的観点から「扱う」という表現とした）
3.1.1.4	炭酸マグネシウムと松やにをプラットフォームの近くに用意する。	炭酸マグネシウムと松やにをプラットフォームの近くに、かつ競技者の登壇側に用意する。

3.1.2.1	<p>ジュリー席：ジュリー席は、プラットフォームとステージが妨害なしによく見える場所に設置される。ジュリー席はプラットフォームの中心から最大1000cm以内、競技者の入退場側のセンターレフリーとサイドレフリーの間に配置する。</p>	<p>ジュリー席：ジュリー席は、プラットフォームとステージが妨害なしによく見える場所に設置される。ジュリー席はプラットフォームの中心から最大1000cm以内、競技者の入退場側のセンターレフリーとサイドレフリーの間に配置する。 <u>ステージが高くてテクニカルオフィシャルが試技を見づらい場合、大会運営側は試技を見やすくなるようなテクニカルオフィシャルのためのプラットフォームを設置しなければならない。</u></p>
3.1.2.2	<p>レフリー席： a.センターレフリーは、プラットフォームの先端から400cm（テーブルの後ろまで：レフリーに近い側の端）、プラットフォームの中心線上に位置する。 b.サイドレフリーは、センターレフリーと同一線上でセンターレフリーから300~400cm離れた位置に座る。 c.リザーブレフリーはFOP内の指定された場所に座る。</p>	<p>レフリー席： a.センターレフリーは、プラットフォームの先端から400cm（テーブルの後ろまで：レフリーに近い側の端）、プラットフォームの中心線上に位置する。 b.サイドレフリーは、センターレフリーと同一線上でセンターレフリーから300~400cm離れた位置に座る。 c.リザーブレフリーはFOP内の指定された場所に座る。 <u>d.ステージが高くてテクニカルオフィシャルが試技を見づらい場合、大会運営側は試技を見やすくなるようなテクニカルオフィシャルのためのプラットフォームを設置しなければならない。</u></p>
3.4.1.2	<p>IWFイベントの要項には以下を含めること： ・大会期日、競技日程及び関連行事の日程 ・競技会場及びトレーニング場 ・各階級の最小エントリートータル（シニアの世界選手権に適用される） ・諸費用の詳細 ・提供されるホテル及び輸送について ・メディア・アクセシビリティフォーム ・予備エントリーフォーム ・ファイナルエントリーフォーム ・組織委員会の連絡先 ・その他の必要な情報</p>	<p>IWFイベントの要項には以下を含めること： ・大会期日、競技日程及び関連行事の日程 ・競技会場及びトレーニング場 ・各階級の最小エントリートータル（適用される場合はシニアの世界選手権で用いられる） ・諸費用の詳細 ・提供されるホテル及び輸送について ・メディア・アクセシビリティフォーム ・予備エントリーフォーム ・ファイナルエントリーフォーム ・組織委員会の連絡先 ・その他の必要な情報</p>
3.4.2.2.	<p>予備エントリーでは最大で男子12名、女子12名又は男女それぞれそのイベントで開催される階級数プラス2名のうち少ない方の人数をエントリーできる。 IWF世界選手権大会（シニア、ジュニア、ユース）においては男子20名女子20名をエントリーできるが、各MFは実際に参加する競技者とチーム役員の数をエントリーの時点で申告しておかなければならない。</p>	<p>予備エントリーでは最大で男子20名、女子20名又は男女それぞれそのイベントで開催される階級数の2倍のどちらか少ない方の人数をエントリーできる。 各MFは実際に参加する競技者とチーム役員の数を申告しておかなければならない。</p>

3.4.2.3	<p>ファイナルエントリーフォームには以下の欄を設けること：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所属MF名 ・競技者名 ・競技者の生年月日 ・競技者の階級 ・エントリートータル（競技者のグループ分けにおいて参照される。6.6.5項を考慮すること） ・同伴するチーム関係者の名前と役職（チームリーダー、コーチ、ドクター、セラピストなど） ・記名サインと日付 <p>ファイナルエントリーでは最大で男子12名、女子12名又は男女それぞれそのイベントで開催される階級数プラス2名のうち少ない方の人数をエントリーできる。これは出場できる最大競技者数にそれぞれ2名のリザーブを加えた人数である。ファイナルエントリーフォームではリザーブの競技者を指定しなければならない。IWF世界選手権大会（シニア、ジュニア、ユース）においては予備エントリーされた競技者のみファイナルエントリーフォームに搭載することができる。</p>	<p>ファイナルエントリーフォームには以下の欄を設けること：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所属MF名 ・競技者名 ・競技者の生年月日 ・競技者の階級 ・エントリートータル（競技者のグループ分けにおいて参照される。6.6.5項を考慮すること） ・同伴するチーム関係者の名前と役職（チームリーダー、コーチ、ドクター、セラピストなど） ・記名サインと日付 <p>ファイナルエントリーでは最大で男子12名、女子12名又は男女それぞれそのイベントで開催される階級数プラス2名のうち少ない方の人数をエントリーできる。これは出場できる最大競技者数にそれぞれ2名のリザーブを加えた人数である。ファイナルエントリーフォームではリザーブの競技者を指定しなければならない。予備エントリーされた競技者のみファイナルエントリーフォームに搭載することができる。</p>
5.1.1	<p>IWFイベントとは、IWFカレンダーポリシーに則り「IWFイベント」としてIWFカレンダーに登録された国際競技会を指す。IWFイベントには2つのタイプがある：</p> <p>a) オリンピック競技大会参加枠獲得対象イベント b) オリンピック競技大会参加枠獲得非対象イベント</p> <p>オリンピック競技大会参加枠獲得対象イベントには3つのレベルがある：</p> <p>a) ゴールドレベルイベント b) シルバーレベルイベント c) ブロンズレベルイベント</p>	<p>IWFイベントとは、IWFカレンダーポリシーに則り「IWFイベント」としてIWFカレンダーに登録された国際競技会を指す。IWFイベントには3つのタイプがある：</p> <p>a) オリンピック競技大会参加枠獲得対象イベント b) オリンピック競技大会参加枠獲得非対象イベント c) オンラインイベント</p> <p><u>注：</u> オンラインイベントは前もってIWF理事会が承認した場合は公式の大会となる。 そのような承認は一件ごとに考慮された上での特例措置としてのみなされるものである。 オリンピック競技大会参加枠獲得対象イベントは参加枠獲得システムの定めによる。</p>
5.2.2.3	<p>シニアのIWF世界選手権大会は夏季オリンピック競技大会の年を除き10階級で毎年開催される。夏季オリンピック競技大会の年においては男女とも非オリンピック階級の3階級を最低限含めた上で開催することができる。</p>	<p>シニアのIWF世界選手権大会は10階級で毎年開催される。夏季オリンピック競技大会の年においてはIWFはシニアのIWF世界選手権大会を開催できる。</p>
5.3.1	<p>オリンピック競技大会及びユースオリンピック競技大会に関しては、それぞれの「オリンピック競技大会参加枠獲得要項」に則り、NOCから選手をエントリーする。</p>	<p>オリンピック競技大会及びユースオリンピック競技大会に関しては、それぞれの「オリンピック競技大会参加枠獲得システムおよび要項」に則り、NOCから選手をエントリーする。</p>
6.1.2	<p>IWFイベントの参加資格を得るため競技者は、IWFアンチ・ドーピング政策に定められた居所情報に関するルールを遵守しなければならない。</p>	<p>IWFイベントの参加資格を得るため競技者は、IWFアンチ・ドーピング規則に定められた居所情報に関するルールを遵守しなければならない。</p>
6.6.10	<p>競技者が最初に申し込んだ重量を増減したい場合は、コーチ／競技者は試技票（Athlete's Card）に重量を記入しサインすることによりチームマーシャルに申告する。重量を増加するには、コーチ／競技者はファイナルコール前に記入しサインしなければならない（6.6.12項の場合を除く）。その競技者のための計時が開始されてからは重量を減らすことはできない。</p>	<p>競技者が最初に申し込んだ重量を増減したい場合は、コーチ／競技者は試技票（Athlete's Card）に重量を記入しサインすることによりチームマーシャルに申告する。重量を増加するには、コーチ／競技者はファイナルコール前に記入しサインしなければならない（6.6.12項の場合を除く）。その競技者のための計時が開始されてからは重量を減らすことはできない。 <u>注：</u>検量後に申告重量に対してなされるいかなる変更も、与えられた2回の変更のうちの1回の変更としてカウントされる。</p>

6.8.2	<p>スナッチとクリーン&ジャークの順位決定には次の要素が関係する：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ベスト重量 — 高い方の順位が上。同じ場合は、 2. <u>ベスト重量が達成された試技における試技回数</u> — 低い方が上。同じ場合は、 3. <u>その前の試技における重量</u> — 軽い方の順位が上。同じ場合は、 4. <u>抽選番号</u> — 少ない方が上。 <p>トータルの順位決定には次の要素が関係する：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ベスト重量 — 高い方の順位が上。同じ場合は、 2. <u>クリーン&ジャークのベスト重量</u> — 低い方の順位が上。同じ場合は、 3. <u>クリーン&ジャークのベスト重量が達成された試技における試技回数</u> — 少ない方が上。同じ場合は、 4. <u>クリーン&ジャークのその前の試技（第2試技→第1試技とさかのぼる場合もありうる）の重量</u> — 軽い方の順位が上。同じ場合は、 5. <u>抽選番号</u> — 小さい方が上。 <p>異なるグループにおいて同記録となった場合、その記録を達成した試技回数にかかわらず時間的に早くその記録を達成した競技者上位となる。（6.8に関する規定参照）。</p>	<p>スナッチとクリーン&ジャークの順位決定には次の要素が関係する：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ベスト重量 — 高い方の順位が上。同じ場合は、 2. <u>6.6.6項に記載されたコール順において先にそのベスト重量を達成した競技者が上位となる。</u> <p>トータルの順位決定には次の要素が関係する：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ベスト重量 — 高い方の順位が上。同じ場合は、 2. <u>6.6.6項に記載されたコール順において先にそのトータル重量を達成した競技者が上位となる。</u> <p>異なるグループにおいて同記録となった場合、その記録を達成した試技回数にかかわらず時間的に早くその記録を達成した競技者上位となる。（6.8に関する規定参照）。</p>
7.2.3	<p>TOsはIWFの公式ユニフォームを着用しなければならない：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネイビーブルー（色コード：PMS2767）のジャケット ・ネイビーブルー（色コード：PMS2767）のズボン／スカート ・白のYシャツ ・JWA（国際ルール：IWF）のネクタイ／スカーフ ・黒／ダークブルーのベルト（男性） ・黒／ダークブルーのソックス（男性） ・黒／ダークブルー／<u>ベージュ</u>のソックス（女性がズボンを着用している場合） ・黒／ダークブルー／<u>ベージュ</u>のストッキング（女性がスカートを着用している場合） ・黒のドレスシューズ ・ジャケットの左襟にJWA（国際ルール：IWF）TOの金属のバッジ ・左胸のポケットに縫い付けたJWA（国際ルール：IWF）のテクニカルオフィシャルワッペン <p>暑い天候や会場の状況に応じて、プレジデントジュリーの判断により、ジャケットを脱ぐ及び／又はネクタイ／スカーフをはずすことが許される。選手／審判紹介及び表彰式においてはIWFからの指示がない限りジャケットとネクタイ／スカーフは着用しなければならない。オリンピック競技大会やその他の総合競技大会などにおいては、組織委員会から指定されたユニフォームを着用しなければならない。大会ユニフォームがない場合は、IWFのTOユニフォームを着用する。</p>	<p>TOsはIWFの公式ユニフォームを着用しなければならない：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネイビーブルー（色コード：PMS2767）のジャケット ・ネイビーブルー（色コード：PMS2767）のズボン／スカート ・白のYシャツ ・JWA（国際ルール：IWF）のネクタイ／スカーフ ・黒／ダークブルーのベルト（男性） ・黒／ダークブルーのソックス（男性） ・黒／ダークブルー／<u>肌の色</u>のソックス（女性がズボンを着用している場合） ・黒／ダークブルー／<u>肌の色</u>のストッキング（女性がスカートを着用している場合） ・黒のドレスシューズ ・ジャケットの左襟にJWA（国際ルール：IWF）TOの金属のバッジ ・左胸のポケットに縫い付けたJWA（国際ルール：IWF）のテクニカルオフィシャルワッペン <p>暑い天候や会場の状況に応じて、プレジデントジュリーの判断により、ジャケットを脱ぐ及び／又はネクタイ／スカーフをはずすことが許される。選手／審判紹介及び表彰式においてはIWFからの指示がない限りジャケットとネクタイ／スカーフは着用しなければならない。オリンピック競技大会やその他の総合競技大会などにおいては、組織委員会から指定されたユニフォームを着用しなければならない。大会ユニフォームがない場合は、IWFのTOユニフォームを着用する。</p>
7.2.8	<p>TO紹介の後、審判手帳TOカードをプレジデントジュリーに提出しなければならない。カードはそれぞれの競技が終了した後に受け取る。</p>	<p>TO紹介の後、審判手帳TOカードをプレジデントジュリーに提出しなければならない。カードは競技が終了した後に受け取る。</p>

7.5.7	<p>ジュリーはレフリーの判定が正しくないと全員一致で判断したとき、判定を変更させる権限を持つ。判定の変更を考える過程でジュリーはレフリーを呼び、説明を求めることができる。説明が受け入れられたならば判定は変わらない。説明が受け入れられない場合、ジュリーは判定を覆すことができる。判定の変更とその理由はプレジデントジュリーの指示により、テクニカルコントローラ又は他のTOにより競技者及び所属チームに伝えられ、アナウンサーにより放送されなければならない。</p> <p>ジュリーメンバー（5人の場合）の過半数の意見がレフリーの判定と異なる場合、ジュリーはレフリーを呼び、説明を求めることができる。説明が受け入れられたならば判定は変わらない。説明が受け入れられない場合、ジュリー団の全員が合意したならば判定を覆すことができる。</p> <p>ジュリーが3人の場合、最初にジュリー団の意見の一致がなければ判定を覆すことはできない。</p>	<p>VPTが使用されていない場合には、ジュリーはレフリーの判定が正しくないと全員一致で判断したとき、判定を変更させる権限を持つ。判定の変更を考える過程でジュリーはレフリーを呼び、説明を求めることができる。説明が受け入れられたならば判定は変わらない。説明が受け入れられない場合、ジュリーは判定を覆すことができる。判定の変更とその理由はプレジデントジュリーの指示により、テクニカルコントローラ又は他のTOにより競技者及び所属チームに伝えられ、アナウンサーにより放送されなければならない。</p> <p><u>VPTが使用されている場合は、VPTをリプレイした後に判定を覆すため必要な条件は、過半数のジュリーの意見の合意である。</u></p> <p>ジュリーメンバー（5人の場合）の過半数の意見がレフリーの判定と異なる場合、ジュリーはレフリーを呼び、説明を求めることができる。説明が受け入れられたならば判定は変わらない。説明が受け入れられない場合、ジュリー団の全員が同意見であるならば判定を覆すことができる。</p> <p>ジュリーが3人の場合、最初にジュリー団の意見の一致がなければ判定を覆すことはできない。</p>
7.11.6	<p>コンペティションセクレタリーは、以下のことを検量室、あるいは競技開始30分前までにウォーミングアップ場において実施する。自ら行っても構わないし担当者に任せても構わないが、任せる場合は監督すること：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーミングアップ場におけるプラットフォーム番号を通知すること ・アクレディテーションを回収し競技者用パス／チャレンジカードを配付すること ・ウォーミングアップ場へのパスを配付すること ・ゼッケン及び安全ピンを配付すること ・チーム関係者に対する番号ステッカーを配付すること（オプション） 	<p>コンペティションセクレタリーは、以下のことを検量室、あるいは競技開始30分前までにウォーミングアップ場において実施する。自ら行っても構わないし担当者に任せても構わないが、任せる場合は監督すること：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーミングアップ場におけるプラットフォーム番号を通知すること ・アクレディテーションを回収し競技者用パス／チャレンジカードを配付すること、<u>また検量後に試技票をマーシャル席まで届けること</u> ・ウォーミングアップ場へのパスを配付すること ・ゼッケン及び安全ピンを配付すること ・チーム関係者に対する番号ステッカーを配付すること（オプション）
8.2	<p>IWFはユース、ジュニア、シニア、マスターズの世界記録、またオリンピック及びユニバーシアード記録について、男女各階級のスナッチ、クリーン&ジャーク及びトータルのそれぞれを公認する。</p> <p>JWAは・・・</p>	<p>IWFはユース、ジュニア、シニア、マスターズの世界記録、またオリンピック及びユニバーシアード記録について、男女各階級のスナッチ、クリーン&ジャーク及びトータルのそれぞれを公認する。（訳注：この項に微妙な英語の文章表現の変更があるが、日本語では同じでよい。）</p> <p>JWAは・・・</p>
8.6	<p>マスターズの競技者はマスターズ記録を樹立することができる。</p>	<p>マスターズの競技者はシニアとマスターズの記録を樹立することができる。</p>
8.7	<p>世界記録、大陸記録、及び地域記録は、ブロンズレベルイベントを除きIWFカレンダーに記載されたIWF イベントのみにおいて公認する。</p>	<p>世界記録、大陸記録、及び地域記録は、IWFカレンダーに記載されたIWF イベントのみにおいて公認する。</p>
8.14	<p>各種世界新記録は、IWFアンチ・ドーピング政策に則った方法で実施されたドーピングコントロールを正しく受けた競技者によって樹立されたものでなければならない。</p>	<p>各種世界新記録は、IWFアンチ・ドーピング規則に則った方法で実施されたドーピングコントロールを正しく受けた競技者によって樹立されたものでなければならない。</p>

1.2に関する規定	<p>オリンピック階級</p> <table border="1" data-bbox="371 145 927 507"> <thead> <tr> <th>階級</th> <th>許容範囲</th> <th>階級</th> <th>許容範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">オリンピック階級男子</td> <td colspan="2">オリンピック階級女子</td> </tr> <tr> <td>61kg</td> <td>≦61.00</td> <td>49kg</td> <td>≦49.00</td> </tr> <tr> <td>67kg</td> <td>61.01-67.00</td> <td>55kg</td> <td>49.01-55.00</td> </tr> <tr> <td>73kg</td> <td>67.01-73.00</td> <td>59kg</td> <td>55.01-59.00</td> </tr> <tr> <td>81kg</td> <td>73.01-81.00</td> <td>64kg</td> <td>59.01-64.00</td> </tr> <tr> <td>96kg</td> <td>81.01-96.00</td> <td>76kg</td> <td>64.01-76.00</td> </tr> <tr> <td>109kg</td> <td>96.01-109.00</td> <td>87kg</td> <td>76.01-87.00</td> </tr> <tr> <td>+109kg</td> <td>>109.00</td> <td>+87kg</td> <td>>87.00</td> </tr> </tbody> </table>	階級	許容範囲	階級	許容範囲	オリンピック階級男子		オリンピック階級女子		61kg	≦61.00	49kg	≦49.00	67kg	61.01-67.00	55kg	49.01-55.00	73kg	67.01-73.00	59kg	55.01-59.00	81kg	73.01-81.00	64kg	59.01-64.00	96kg	81.01-96.00	76kg	64.01-76.00	109kg	96.01-109.00	87kg	76.01-87.00	+109kg	>109.00	+87kg	>87.00	<p>オリンピック階級</p> <table border="1" data-bbox="1256 145 1812 427"> <thead> <tr> <th>階級</th> <th>許容範囲</th> <th>階級</th> <th>許容範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">オリンピック階級男子</td> <td colspan="2">オリンピック階級女子</td> </tr> <tr> <td>61kg</td> <td>≦61.00</td> <td>49kg</td> <td>≦49.00</td> </tr> <tr> <td>73kg</td> <td>61.01-73.00</td> <td>59kg</td> <td>49.01-59.00</td> </tr> <tr> <td>89kg</td> <td>73.01-89.00</td> <td>71kg</td> <td>59.01-71.00</td> </tr> <tr> <td>102kg</td> <td>89.01-102.00</td> <td>81kg</td> <td>71.01-81.00</td> </tr> <tr> <td>+102kg</td> <td>102.00 <</td> <td>+81kg</td> <td>81.00 <</td> </tr> </tbody> </table>	階級	許容範囲	階級	許容範囲	オリンピック階級男子		オリンピック階級女子		61kg	≦61.00	49kg	≦49.00	73kg	61.01-73.00	59kg	49.01-59.00	89kg	73.01-89.00	71kg	59.01-71.00	102kg	89.01-102.00	81kg	71.01-81.00	+102kg	102.00 <	+81kg	81.00 <
階級	許容範囲	階級	許容範囲																																																															
オリンピック階級男子		オリンピック階級女子																																																																
61kg	≦61.00	49kg	≦49.00																																																															
67kg	61.01-67.00	55kg	49.01-55.00																																																															
73kg	67.01-73.00	59kg	55.01-59.00																																																															
81kg	73.01-81.00	64kg	59.01-64.00																																																															
96kg	81.01-96.00	76kg	64.01-76.00																																																															
109kg	96.01-109.00	87kg	76.01-87.00																																																															
+109kg	>109.00	+87kg	>87.00																																																															
階級	許容範囲	階級	許容範囲																																																															
オリンピック階級男子		オリンピック階級女子																																																																
61kg	≦61.00	49kg	≦49.00																																																															
73kg	61.01-73.00	59kg	49.01-59.00																																																															
89kg	73.01-89.00	71kg	59.01-71.00																																																															
102kg	89.01-102.00	81kg	71.01-81.00																																																															
+102kg	102.00 <	+81kg	81.00 <																																																															
3.3.7に関する規定 1	<p>VPTの要件： a) 最低4つのカメラ：カメラはステージの周囲に設置され、3台はステージ前方でそれぞれのレフリーにできる限り近い位置に、4台目はプラットフォーム中心部の側方、プラットフォームの端から4m以上離れることのないように設置する。正面の3台についてはプラットフォームの30cm上方に、側面のカメラはプラットフォームの高さに設置する。</p>	<p>VPTの要件： a) 最低4つのカメラ：カメラはステージの周囲に設置され、3台はステージ前方でそれぞれのレフリーにできる限り近い位置に、4台目はプラットフォーム中心部の後方、ストッパーの後ろに設置する。正面の3台についてはプラットフォームの30cm上方に、後方のカメラはプラットフォームの高さに設置する。</p>																																																																
6	<p>ジュリーの過半数の意見がレフリーの判定と異なる場合、ジュリー自身の決断によりVPTのプロセスを開始することができる。</p>	<p>ジュリーの過半数の意見がレフリーの判定と異なる場合、ジュリー自身の決断によりVPTのプロセスを開始することができる。 <u>ジュリーがVPTのプロセスを開始する場合、プレジデントジュリーは（ジュリーに与えられた）アナウンサー、テクニカルコントローラ、TVプロデューサ等の注意を惹き、そして競技を止めるため黄色の小旗を掲げる。</u></p>																																																																
9.4	<p><u>異議申し立てを受け付けたテクニカルコントローラは申し立てをジュリーに伝えるため競技を止めなければならない。</u></p>	<p><u>異議申し立てを受け付けたテクニカルコントローラは競技が止められなければならないことを示し、そうすることによりジュリーに申し立てを伝えに行く。</u></p>																																																																
9.6（追加）		<p>異議申し立てのプロセスが完了したら、プレジデントジュリーは競技再開を指示する。</p>																																																																
9.7（追加）		<p>ジュリー自身が開始したVPTプロセスで下した決定は最終のものであり、それに対して競技者やチーム役員がチャレンジすることはできない。</p>																																																																

<p>5.1に関する規定</p>	<p>a)参加枠獲得対象イベント ・IWFカレンダーに含めるための申請は、本フォームを通じてイベント（世界選手権大会は除く）の最低6ヶ月前までには提出されなければならないが、IWFの承認を得れば前述に該当しない。 ・すべてのイベントおよび競技要項は、IWF加盟の国内連盟/組織委員会によって、イベントの4ヶ月前までに確認のため、IWFへ送付しなければならない。 ・要項が承認された場合、イベントの3ヶ月前までにはIWFウェブサイトにて書類を公開しなければならない。シニアとジュニアのイベントに限る。 ・予備エントリーおよび最終エントリーは、締め切り後7日以内に提出すること。 ・結果は、イベント終了後7日以内にテンプレートのフォーマットで提出すること。</p> <p>b)参加枠獲得非対象イベント IWF、大陸連盟（CF）、地域連盟（RF）、IWF加盟の国内連盟（MF）、クラブ（国のMFに承認されている）主催。IWFからのアドバイスがない限り、企画、運営および組織は、IWF TCRRと、特に競技規則5.1、5.2、5.5、5.6、5.7と、5.1に関する規定と5.2に関する規定に従う； <u>IWFユース世界選手権大会、選定されたIWFイベントにおいてはIWF TISを適用する；</u> <u>・ユース大陸選手権大会においてはIWF認可のITシステムを適用する。</u> <u>・総合競技大会においてはIWF認可のITシステムを適用する。</u> <u>・その他のイベントにおいてIWF TCRR対応のITシステムを適用する。</u> 詳細についてはIWFカレンダーポリシーを参照のこと。</p>	<p>a)参加枠獲得対象イベント ・IWFカレンダーに含めるための申請は、本フォームを通じてイベント（世界選手権大会は除く）の最低6ヶ月前までには提出されなければならないが、IWFの承認を得れば前述に該当しない。 ・すべてのイベントおよび競技要項は、IWF加盟の国内連盟/組織委員会によって、イベントの4ヶ月前までに確認のため、IWFへ送付しなければならない。 ・要項が承認された場合、イベントの3ヶ月前までにはIWFウェブサイトにて書類を公開しなければならない。シニアのイベントに限る。 ・予備エントリーおよび最終エントリーは、締め切り後7日以内に提出すること。 ・結果は、イベント終了後7日以内にテンプレートのフォーマットで提出すること。</p> <p>b)参加枠獲得非対象イベント IWF、大陸連盟（CF）、地域連盟（RF）、IWF加盟の国内連盟（MF）、クラブ（国のMFに承認されている）主催。IWFからのアドバイスがない限り、企画、運営および組織は、IWF TCRRと、特に競技規則5.1、5.2、5.5と、5.1に関する規定と5.2に関する規定に従う。 <u>競技運営ITシステムの適用について、主要な大会即ち世界選手権大会、大陸選手権大会、総合競技大会、いかなる参加枠獲得対象イベントにおいてはIWF認可のシステムを用いる。</u> 詳細についてはIWFカレンダーポリシーを参照のこと。</p>
<p>5.1に関する規定 5</p>	<p>世界選手権大会の会期は、特別な定めがない限り以下の通りとする： ・ユース世界選手権大会：6日間以上の競技日程 ・ジュニア世界選手権大会：7日間以上の競技日程 ・シニア世界選手権大会：夏季オリンピック競技大会の年を除き8日間以上の競技日程</p>	<p>世界選手権大会の会期は、特別な定めがない限り以下の通りとする： ・ユース世界選手権大会：6日間以上の競技日程 ・ジュニア世界選手権大会：7日間以上の競技日程 ・シニア世界選手権大会：8日間以上の競技日程</p>
<p>6.12</p>	<p>ホストMF/組織委員会は、コンペティションダイレクター及び/あるいはプレジデントジュリーと円滑な競技運営をはかるため、十分な数の国内テクニカルオフィシャルを指名し任務に当たらせること。</p>	<p>ホストMF/組織委員会は、コンペティションダイレクター、技術委員会委員長及び/あるいはプレジデントジュリーと円滑な競技運営をはかるため、十分な数の国内テクニカルオフィシャルを指名し任務に当たらせること。</p>
<p>6.4に関する規定</p>		
<p>10</p>	<p>競技者は全裸又は下着（競技者の服装に規定されるコスチューム、ユニタード、スパッツ、Tシャツは下着としてはみなされない）<u>で計量する</u>。またシューズやソックスなど、足に履くものは脱ぐこと。実際の計量プロセスに関わる場所は、(国際ルール：CS及び) 検量の補助役員から見えないようにスクリーンで隠されていなければならない。</p>	<p>競技者は下着（競技者の服装に規定されるコスチューム、ユニタード、スパッツ、Tシャツは下着としてはみなされない）<u>を着用して計量しなければならない</u>。またシューズやソックスなど、足に履くものは脱ぐこと。実際の計量プロセスに関わる場所は、CS及び検量の補助役員から見えないようにスクリーンで隠されていなければならない。</p>
<p>13</p>	<p>検量室は適切な衛生状態を保つこと。要求があれば/必要に応じて、<u>消毒剤を用いて体重計を拭くこと</u>。</p>	<p>検量室は適切な衛生状態を保つこと。要求があれば/必要に応じて、<u>体重計を拭くことができるように消毒剤、消毒液ボトル、布類を準備しておくこと</u>。</p>
<p>7.14に関する規定 1</p>	<p>器具係 ... ・ <u>各グループの競技終了後、消毒剤でバーを清掃する</u>。</p>	<p>器具係 ... ・ <u>一試技毎に、消毒剤でバーを清掃する。バーは試技が終わる度に消毒しなければならない</u>。</p>

<p>9に関する規定</p>	<p>開会式 <u>世界選手権大会に先立っては、以下の手順で開会式を行う（独創性、新進性に富んだいかなるアイデアも歓迎される）：</u></p> <p>9.1.1選手団あるいはその代表者がアルファベット順で入場する。ただし、開催国の競技者は最後を歩く。</p> <p>9.1.2各チームの旗手はステージの上で半円を描く。</p> <p>9.1.3ゲストが入場し、ステージの上の所定の位置に着く。</p> <p>9.1.4ホスト国のゲストがスピーチする。</p> <p>9.1.5ホスト国のMF会長がスピーチする。</p> <p>9.1.6IWF会長が返答スピーチを行い、開会を宣言する。</p> <p>9.1.7ホスト国国歌を演奏し、ホスト国とIWFの旗を掲揚する。</p> <p>9.1.8ゲストが退場し、続いて選手団が退場する。</p> <p>9.1.9続けてホスト国によるエンターテインメントプログラムを実施しても構わない。</p> <p>閉会式 <u>世界選手権大会の結びに、以下の手順で閉会式を行う（独創性、新進性に富んだいかなるアイデアも歓迎される）：</u></p> <p>9.2.1選手団代表者はステージに上がり所定の位置に着く。</p> <p>9.2.2各チームの旗手はステージの上で半円を描く。</p> <p>9.2.3ゲストが入場し、ステージの上の所定の位置に着く。</p> <p>9.2.4ホスト国のMF会長がスピーチする。</p> <p>9.2.5IWF会長が返答スピーチを行い、閉会を宣言する。</p> <p>9.2.6ホスト国国歌を演奏し、ホスト国とIWFの旗を降納する。</p> <p>9.2.7IWF旗が会長に手渡される。</p> <p>9.2.8IWF旗が次の世界選手権大会開催地の代表者に手渡される。</p> <p>9.2.9ゲストが退場し、続いて選手団が退場する。</p> <p>9.2.10組織委員会とIWFとの間で協議の上、チームトロフィーの表彰を閉会式と併せて実施しても、あるいは別途団体表彰を行っても構わない。</p>	<p>開会式 <u>世界選手権大会に先立ち、組織委員会およびIWFにより考案された手順により開会式が行われる。</u> <u>開会式のプログラムはあらかじめIWFによる承認が必要とされる。</u></p> <p>閉会式 <u>世界選手権大会の結びに、組織委員会およびIWFにより考案された手順により閉会式が行われる。</u> <u>閉会式のプログラムはあらかじめIWFによる承認が必要とされる。</u></p>
<p>ガイドライン</p>	<p>詳細な情報を含む各種ガイドラインがIWF Website (www.iwf.net) のDownload Centerからダウンロードすることができる。</p>	<p>詳細な情報を含む各種ガイドラインがIWF Website (iwf.sport) のDownload Centerからダウンロードすることができる。</p>